

## 宮城県美術館に係る検討のポイントについて

## 1 宮城県美術館リニューアル基本方針

平成30年3月に宮城県教育委員会が「宮城県美術館リニューアル基本方針」を策定

## 概要

## ○検討体制

宮城県美術館リニューアル基本方針策定検討会議（計4回開催）

## ○宮城県美術館の目指す姿

「記憶に残る」「また訪れたいくなる」「常に新しい発見のある」美術館

## ○リニューアル後の美術館が備える機能と改修内容

- ・子どもたちの豊かな体験を創出する美術館（「キッズ・スタジオ」（仮称）の整備等）
- ・人々が憩い、くつろぎ、集い、つながる美術館（情報・交流ラウンジ（仮称）の整備等）
- ・国内外の人々が魅了される美術館（収蔵庫・展示室の拡充、「見える収蔵庫」の設置等）
- ・ともに築きあう美術館（県民の創作活動の促進に資する環境の整備等）

なお、リニューアルに伴い、敷地内での増築を検討。

## ○概算事業費

約50～60億円（収蔵品の運搬・仮保管費用を除く。）と見込む。

## 2 検討のポイント

リニューアル基本方針は策定済であるが、今回、老朽化が進む県有施設の再編整備等を全庁的に検討するに当たり、移転・新築等の選択肢も含めて再検討を行うこととした。

## ○移転・新築をする場合の利点として、次のようなものが考えられる。

- ・現在の建物構造を前提とするリニューアルプランよりも、設計の自由度が増し、ユニバーサルデザインやICT化等の課題に抜本的な対策を講じることが可能となる。
- ・他施設と集約・複合化した場合には、県民の利便性の向上や、異なる機能同士の相乗効果が期待できる。
- ・休館期間や収蔵品の運搬・仮保管がほぼ不要となる。

## ○なお、移転・新築又は他施設との複合化を検討する場合は、美術品を適正に収集保存し、公開する観点から、美術館の特殊性や建築上の留意すべき事項を考慮する必要がある。

- ・建築上、防火・防犯区画が画然とし、他の施設部分と隔絶されていること。
- ・空調・電気・消火設備等が独立して機能していること。
- ・適正な美術品の保存環境が保てる展示室・収蔵庫を設置すること。
- ・生物被害、温・湿度の調整、日光の遮断、通風の調整等、所蔵する美術品や借用品を適切に保管するために必要な設備等を備えること。
- ・美術品の搬出入経路が独立し専用の出入り口を有すること。

## ○また、移転に伴い、国内外の著名な作品の借用に係る信頼関係を再度構築する必要がある等々の課題が生じる可能性もある。